

第 99 号

2006年4月28日

発行 平生町議会  
〒742-1195  
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
発行責任者 平岡正一  
編集 議会広報広聴調査特別委員会

議 平生町  
議会だより



おにいさん、おねえさんありがとう。(4月10日 佐賀小学校入学式)

3月  
議会報告  
いっぱい質問

新年度予算	2ページ
臨時議会	3ページ
委員会報告	4ページ
いっぱい質問	6ページ
投稿コーナー	10ページ



# 「持続可能な行財政基盤の確立と 協働のまちづくりパート2」を目指して

平成18年第2回平生町議会定例会が、3月8日から13日間の日程で開かれました。

3月議会は、新年度の予算を審議するいちばん大事な議会です。

町長から提案された議案は、補正予算7件、新年度予算11件、条例17件、※事件6件、同意1件の計42議案です。

議案は全会一致または賛成多数で可決承認されました。

一般質問では、4人の議員が登壇し新年度の施策を中心に質問をしました。

山田町長は、提案説明の中で、18年度においては『持続可能な行財政基盤の確立と協働のまちづくりパート2』と題して、

行財政運営を進めていくとし、第3次行政改革大綱が3月末で期間満了となることから、第4次行政改革大綱、それに基づく集中改革プランを策定し、次の4つの柱の取り組みを継続していくと述べました。

## 1. 行政の簡素・効率化

事務事業の見直しでは、町民と行政の役割分担を明確にしたと

ころにポイントを置き、「現行どおり・見直し・廃止休止」と精査を進めていきたい。

## 2. 組織・機構の簡素・効率化

第1期の改革として、事業課の統合を図り、技術職員を集約することで、機動性の高い業務遂行を目指すものであり、大きな集合体となるが、それぞれ専門性を持った班体制とすることで、町民の要望に迅速にこたえたい。また、税、使用料の徴収については、

東部地方税整理組合が解散したが、新しい部署を設けず、現行の体制の強化を図り、徴収基準を設け、全庁同じ感覚で業務に当たってきたい。

## 3. 定員管理の適正化及び給与制度の見直し

定員管理については、今年度中の退職者の欠員不補充は継続していく。給与制度の見直しについては昨年的人事院勧告に基づき、地域給与の導入を図り、新制度の構築に取り組んでいきたい。



#### 4. 財政の健全化対策

「入りを量りて、出づるを制す」を念頭に、歳入の確保を図り、その中で適正な予算規模を見込み、小さな行政構築を確立していきたい。

特別会計事業においても、医療3会計の膨張は国による社会保障費の見直しがされなければ自治体では解決できないものではない。人口減、高齢化のなかでそれを抑えることは困

難なことである。

そのほか、水産廃棄物処理事業の見直し、漁業集落環境整備事業について、工事終了後の維持管理をどう図っていくか、受益者負担の適正化を図りながら、快適な環境を求めていきたい。

平成18年度予算は、一般会計44億6880万円（対前年度比4.9%減）、特別会計48億7067万円（対前年度比1.3%

減）、合計93億3947万円（3.1%減）となり、当初予算は2年連続で100億円を割りこみました。

※事件とは  
町長の執行の前提手続き（契約、町道の認定、廃止など）を議決するものです。

# 17年度補正予算

3月議会における補正予算の主な理由は、事業確定見込みによる減額及び増額の措置です。

これにより、平成17年度一般会計予算総額は、3600万円減額の49億4365万円、特別会計は2600万円減額の50億1023万円で、総計99億5388万円となりました。

#### 〈増減がある主な事業〉

##### 一般会計

- ▽地方バス路線維持対策 676万2千円増額
- ▽法人保育園委託料 449万2千円減額
- ▽ため池整備事業 660万円減額
- ▽中山間地域振興事業費 626万4千円減額
- ▽下水道事業繰出金 1055万1千円減額

##### 特別会計

- ▽国保一般被保険者療養給付費 2700万円減額
- ▽国保一般被保険者高額療養費 500万円減額
- ▽流域下水道事業負担金 433万8千円減額
- ▽介護保険給付費 427万6千円減額

## 臨時議会

### 議員提出議案

平成18年第1回平生町議会臨時議会が、2月7日に開かれました。提出議案は、工事請負契約の締結についての2件です。

平生町議会議員の報酬の特例に関する条例は平成18年3月31日までとなっています。それに伴い、議員提出議案が2件提出されました。町議会議員の報酬については、厳しい町財政を受けとめ、1号議案は報酬の10%削減、2号議案は20%削減するものです。採決の結果、賛成多数で1号議案が承認されました。

平成17年度佐賀地区漁業集落環境整備事業汚水処理施設機械電気工事 それぞれ、採決の結果賛成多数及び全会一致で可決されました。

したがって、平成18年度も議員報酬は月額10%を削減いたします。

# 員 会 審 査 報 告

## 産業厚生常任委員会

当委員会は7人で構成され、経済課・建設課・下水道課・町民課・健康福祉課の所管に関する事務の審査、調査を行います。

3月13日に開かれ、付託議案は全会一致で承認されました。

### 補正予算

質 やないファミリーサポートセンターの区域とサービスの内容は。

答 柳井・田布施・平生区域で保育園への送迎が主な内容である。

質 佐賀地区の地籍調査の予定はあるか。

答 他地区も含め必要性を調査検討したい。

### 予算

質 戸籍電算化事業の内容。

答 平成15年からの5ヶ年事業で電算移行業務。

質 戦没者慰霊祭の出席状況



活用が望まれている「やないファミリーサポートセンター」

況と今年から一会場に統合されるが移動手段の確保はどうか。

答 535柱中昨年は207人で、移動は近

隣の状況を参考に遺族会と協議した結果、各人でお願ひすることになった。

質 平生港イベント事業費

## 総務文教常任委員会

当委員会は8人で構成され、総務課・企画課・税務課・教育委員会の所管に関する事務の審査、調査を行います。

3月15日に開かれ、付託議案は議員提出議案1件を除き、すべて承認されました。

### 補正予算

質 消防費の備品購入費の内容は。

答 日本防火協会の助成事業によるもので、啓発活動に使用。

質 佐合島渡船は馬島と統合されるが、効果はどの程度試算されるか。

答 推計だが、田布施・平生両町で1000万円減額を見込んでいます。

### 予算

質 都市計画税の導入は検討されているか。

答 取り組むべき課題だ。18年度中に方向づけをしたい。

質 複写機は何年リースか。

答 リースではなく使用料。

質 交通指導員の立哨場所はどこか。

答 西浜・下横・曾根・佐賀小学校周辺である。

質 昨年、前納報奨金を減額したが、収納率の変化はどうか。

答 町県民税の前納件数は平成16年度で54%、平成17年度は53%。

質 固定資産税では平成16年度で73・4%。平成17年度は71・4%であり、収納率は低下している。

質 消防費で団員への降雨期の水没箇所での作業用の長靴カッパの支給はできないか。

答 順次支給を検討したい。



# 委

## 町民生活を支える道路整備財源の確保を求める意見書

道路は、豊かな町民生活や活力ある経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、少子高齢化が進展している中、活力ある地域社会を形成し、地球規模での環境問題に対処し、安全・安心を実感できる国土の実現を図るには、道路整備は引き続き重要となっている。

特に、市町村道は、地域におけるコミュニティを相互に結びつけ、居住空間を構成すると同時に、公共施設や工業団地等地域の振興に寄与する施設等の機能を効率的に発展させるために欠くことのできないものであることから、地域間はもとより町内外との交流・連携を促進する交通ネットワークの整備を進めるとともに、人や自然にやさしい交通環境の整備が必要不可欠である。

一方、国においては、昨年12月に「道路特定財源の見直しに関する基本方針」が政府・与党から示され、①真に必要な道路は計画的に整備を進める。②現行の税率水準を維持する。③特定財源制度は一般財源化を図ることを前提として、納税者の理解を得つつ、具体案を得る。とされたところである。

しかしながら、本町の道路整備は、未だ不十分であり、朝夕、慢性的な渋滞を起こしている、主要幹線道路である国道188号線のバイパス未整備部分の早期着工、生活に密着した県道及び町道の整備促進等、多くの町民が計画的かつ効率的な道路整備の推進を願っているところである。

よって、政府並びに国会におかれては、本年の歳出・歳入一体改革の議論において、下記の事項について特段の配慮がなされるとともに、このような地方の実情に即した道路整備の重要性を深く認識され、平成19年度の予算編成に十分に反映されるよう強く要望する。

### 記

1. 地域の課題に的確に対応した道路整備を強力に推進するため、受益者負担という制度趣旨に則り、道路特定財源はすべて道路整備に充当すること。
  2. 地域の実情に応じた道路整備が着実に推進できるよう、大幅に不足している道路整備財源の確保を図ること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年3月20日

山口県平生町議会



松田宏治さん

## 固定資産評価審査委員

### 選任に同意

この委員会は、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査決定するものです。

委員会の定数は3人で任期は3年です。

松田さんは平生町役場税務課に9年余り従事され、税務行政に精通されています。平成12年から委員を務められ、宇佐木にお住まいです。

固定資産税の、より一層の適正公平を期する見地から、職務遂行を期待します。

他の委員は

田中稔さん(大野)

銭廣英男さん(佐賀)

## 「町民生活を支える道路整備財源の確保を求める意見書」を採択

本議会は、地方の実情に応じた道路整備が着実に推進できるように、政府と国会に対し意見書を提出することにしました。

のタグボートの行う業務と業者選定の方法は、

〔答〕入出港時の曳航に使用業者選定は入札が見積入札とする予定。

### 条例

〔質〕平生町障害程度区分認定審査会の委員は定数上限の5人か。

〔答〕初めての審議会なので当初は5人と考えている。

### 条例

〔質〕国民保護協議会の役割。国民保護計画作成での指導、協力。

〔質〕平生町国民保護対策等の条例制定は拙速にならないか。〔答〕法の規定により制定が必要。



山名喬二 議員

# いっぱん質問

**質** 町長の政治姿勢を問う  
**答** 常に身を削る決意で頑張っていく

質問

国が進めている三位一体改革の施策により、大半の地方自治体は財政的に極限状態にあると思われる。

平生町は平成の大合併の波から外れ、単独町政の道を歩んでいる状況から一段と厳しい財政状態にある。

次の2点を問う。

1. 12月に町長の任期が来るが、更に我身を削る覚悟で平生町の舵取りをされる考えがあるか。

2. 第4次行政改革大綱策定委員会の委員選人に当り『広報ひらお』紙面上で、一般から委員の公募を予定と公表されていたが、実施されなかった。その理由を問う。

答弁 町長

1. 今年の12月には、改選期を迎えるが、今ま

質

次に新年度予算の審議をお願いしている状況であり、厳しい財政状況の中で、新年度のスタートが切れるように、今は全力をあげて予算成立に取り組んでいる。

2. 一般公募を実施しなかったことについてはおわびしたい。実施しなかつたおわびと理由については、次の広報「ひらお」に掲載する。

再質問

行政主管である各種委員会の人選も含め、委員会の活性化について改革の必要性はないか。

再答弁 町長

活発な委員会、そうでない委員会など、いろいろあるが、活性化については意見を引き出す努力をする。

**質** 阿多田島開発の進捗状況は

**答** 基盤整備の部分が遅れている

質問

財務事務所から払い下げ部分の町道整備計画及び利用計画書提出期限が三月末となっているが、阿多田島開発推進の企業誘致活動について、次の3点を問う。

1. 企業誘致活動は国有地の払い下げを受けて、ある程度整地等が進んだ状況下でないとなし、難しいと思うが、現実的にどのような行動をされ、その成果と進捗状況について。

2. 阿多田島開発を進め

るための『産業拠点検討会』で、どのような構想が打ち出されているか。

3. 『PFI』法の活用を検討とあるが、どのような活用を想定し研究されているか。

答弁 町長

1. 企業誘致の関係は、県の企業立地推進室とも連携を取りながら、誘致について取り組みを進めている。

2. 最近では開催していない、基盤整備の方針と経済動向を踏まえたある程度の絞り込まれた段階で、また開催する。

答弁 企画課長

3. PFIとは、「プラ

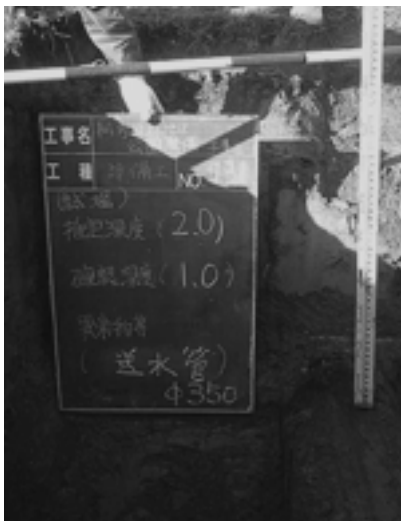
再質問

イベート・ファイナンス・インシアティブ」の頭文字を取ったもので、内容としては公共施設の設計、建設、維持管理、また運営に民間資金のノウハウを活用する方法で、阿多田島開発に利活用できるか検討している。

田名埠頭とリンクした構想を進めることが重要と思われるが、現在建設が進められている上屋を進出企業者が活用できるか。

再答弁 町長

埠頭がせっかく出来たので倉庫が有効活用出来て、地域の発展につながればありがたい。



阿多田開発地中探查



渕上正博 議員

**質** 障害者自立支援法実施に向けて問う

**答** 当面は制度の周知徹底に努める

質問

障害者自立支援法では今年の4月から身体、知的、精神の三障害に関するサービス提供責任が町に一元化される。福祉サービス利用にかんする支給の決定や、利用料減免の認定など、町が実施することとなる。これと併行し、今年の4月から、福祉、医療サービス利用時の負担方式が、原則1割負担となる大きな問題もある。障害が重く、多くのサービスを必要とする人

答弁 町長

ほど負担が重くなり、お金が無ければ支援が受けられない事態となると考えられる。増大する負担額に対し、町としてどのような対策をとるのか。

障害者自立支援法の実施に伴って、町の役割が大きくなる。身体・知的・精神・一元的なサービスをやっていかなければいけないということ、応益負担が増大してサービスが受けられない事態がないように、現段階は制度の周知徹底に努めながら個別について内容の説明をさせていただいている状況である。対象者の方々には、今それぞれ訪問調査を実施して支給量の決定の調査を行なっている。



平生平野

**質** 国民保護計画について問う

**答** 基本的人権を尊重した保護計画を策定する

質問

3月議会に、平生町国民保護協議会条例、並びに平生町国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例が提出された。町の国民保護計画づくりに対して、3点について問う。

1. 法体系そのものが戦争法であり、国民保護計画が作成されれば国民の土地、建物の強制収用、物資の強制収用となる。国民の自由や権利の侵害につながると思うが町長の見解は。

2. 国民保護計画と原発は両立しない。上関原発建設計画にどう影響を与えるか。

3. 国民保護計画は、憲法9条と深いかわりがある。憲法9条をどのように考えているか。

この法律の目的は「国民の生命、身体及び財産を保護し、武力攻撃の国民生活に及ぼす影響が最小となる重要性をかんがみ国地方公共団体の責務、国民の協力、国民の保護のため措置を的確、迅速に実施すること」を目的としている。

また、同法5条において日本国憲法の保障する国民の自由と権利が尊重されなければならないこととなり、町としても基本的人権を尊重した国民保護計画を策定する。

答弁 町長

1. 平成16年6月に、武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律が制定された。1章〜11章195条にわたる膨大なもので、その中の35条第1項において「市町村長は都道府県の国民の保護に関する計画に基づいて国民の保護に関する計画を作成しなけばいけない」、18年度にこの計画を策定することになっていく。その諮問機関となるべき国民保護協議会の条例案を提案している。

2. 現実には建設ということになれば県の防災計画に対策編が追加され、同計画に基づいて本町においても、地域防災計画に原子力災害対策編に準じた対応を加味していく。

3. 憲法9条を含めて憲法を遵守していくことは我々の立場だと思っている。





細田留美子 議員

質 優秀な人材の確保対策を望む

答 大事な取り組みと捉えている

質問

団塊の世代が来年以降定年を迎える。

各自治体はU・Iターンに向けて、アンケート調査や空き家情報の提供など移住促進事業に取り組んでいる。

この世代の力を生かしたまちづくりの可能性を探る時期にきている。活躍できる場の設置など、対策は考えられているか。

答弁 町長

県も、新規事業で団塊世代に対する取り組みを

再質問

始めようとしている。平生町もいろんな可能性を追求していきたい。それぞれの技能あるいは特技をもたれた方々をキラキラ星さんということで、今登録をお願いしている。いろんなボランティア活動でそれを活かしていただきたい。窓口をまず一本化して、情報提供、情報発信をしていき、平生の特性を活かした対策について十分研究したい。

再答弁 町長

この世代のこだわりや、各自の技能など調査を行い、具体的な協力要請は考えられないか。

要望

現在実施している、便利屋さんを活かせる対策、就農体制の強化、経験者による徴収嘱託員の募集も一つの方法と考えている。

この世代に限らず住民の力が引き出させるように積極的に調査研究をしてほしい。

質 改正介護保険制度を聞く

答 予防介護を基軸に取り組む

質問

4月1日から介護保険制度が予防重視型になる。

- 1. 介護基盤整備の予定は。
- 2. 介護予防のメニューと実効性はどうか。
- 3. 地域包括支援センターのあり方はどうか。
- 4. 地域密着型サービスの創設は考えているか。
- 5. 住民参加型福祉に地域通貨の導入はどうか。

答弁 町長

- 1. 医療から在宅への中
- 2. 目標に合わせた運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上が主で、6%から8%の改善効果が見込まれている。
- 3. 運営は平生町社会

- 1. 福祉協議会に委託するが、適切な運営が確保されるように、センターの運営に関与しながら包括支援センターの公正、中立性確保のため、新たに設立された「地域包括支援センター運営協議会」の意見をいただきながら取り組む。
- 4. 今後、認知症高齢者の増加やひとり暮らし独居高齢者の増加を踏まえ、新たにグループホーム、1カ所の整備を予定している。
- 5. 可能性を含めて研究する。

再質問

- 1. 国は施設から在宅へと力を入れていますが、町内の施設整備の基本的考え方はどうか。
- 2. 地域の助け合いのシステムづくりに地域通貨を公共施設や地元商店街の割引に利用できないか。

再答弁 町長

- 1. 近隣の市町と情報交換、連携をとりながら取り組む。
- 2. 研究していく。

要望

地域の独自性や創意工夫を活かしたサービスの導入を研究してほしい。



車いすで介護





藤村政嗣 議員

質 第4次行政改革大綱を問う  
答 大変厳しい状況が続く

質問

組織、機構の簡素化、効率化について、財政の健全化対策について。

1. 組織のフラット化をあまり進めると住民サービスが低下が起きるのではないか。

2. 第4次平生町行政改革大綱実施計画書（平成17年（21年）期間終了後の財政見通しでは大幅な財源不足が生じるが、どう対応しているのか。

答弁 町長

1. 定員削減が現実に進み、職員にかかる業務負担が増えことによるサービス低下につながるような、指示を待つのではなく、自主的に目的思考型の意識改革と業務のメリットが引き出されるような努力を進めたい。

2. 平成22年度まで各年度の歳出については、

再質問

45億円前後で推移していくとみており、単年度では約1億円不足という数値になる。大変厳しい状況が続くことを前提に国の動向も見極めて、今後の対応を進めたい。

係制から班制へと今年度変わっているが、その効果はどうか。財政面では平成22年6億4500円の赤字を見込んでいるが、財源の確保をどう考えているのか。

再答弁 町長

限られた定員の中で、一定の業務をおこなっていく上で、一つの有効な手法と考えている。

答弁 総務課長

歳出削減で、向こう4年間の実施計画の遂行には十分注意したい。

質 広報「ひらお」に慶弔の記載再開を望む

答 プライバシー保護の立場から

質問

掲載を望む意見が町民の中で多い。届出人の承諾があれば良いのではないか。

答弁 町長

昨年の12月号から「広報ひらお」紙面での慶弔の掲載を取りやめております。

本来慶弔は出生・死亡・婚姻などの住民記録に関する個人情報であり、広報掲載は目的外の利用ということになる。今日ま

要望

どんな社会に住みたいのか一人一人が考えるこ

で本人のご了解をいただいて掲載していたが、個人情報保護法施行後においても、事件・事故あるいはそれを悪用されるといふようなことで、プライバシー保護の立場から、今回この掲載をとりやめさせていただいた。

とが大事だ。匿名社会なのか透明社会なのか、今あるべき社会の全体像が見えず、目の前の問題にとらわれている。知る権利が制約されつつある現状と、その行き着く先はどうなるかを訴えなければならぬ。ルールづくりはそこから始まる。これは課題としておきたい。



質問となった広報「ひらお」

# 合併問題調査研究 特別委員会を設置

町議会は、平成17年4月から施行された合併新法に対して、合併問題調査研究特別委員会を設置しました。

これからの平生町をどう発展をさせていくか、慎重に論議を重ねていきます。

委員長に河本史朗議員、副委員長に藤村政嗣議員を選びました。



議会だよりを楽しみにしている町民の一人です。

平素の生活に追われ議事を傍聴することが難しいのが悩みの種です。自分の選んだ議員さんが

どのようなお仕事をしているのか目に見える形になっていくのが「議会だより」だと思います。

議会では様々な質問が出されますが、実に色んな質問があることがわかります。

自分が興味がある質問にはすぐに目が行きます。地域によって色んな現状があって、色んな違いがあることも分かってきます。国単位で考えると小さな町なのに、意外に近くのことから知らないものです。実際にそこ

に住んでみなくては、生活をしてみなければ分からないんですね。また、議員さんによって、得意な分野があることも分かります。教育に多くの質問をする人、道路や、生活に身近なことを質問する人、時には、行政の代表である町長さんにどのような考えを持つているのか質問されることもあり、緊張感が満ちています。

この議会便りを読めば平生町の議会の質が見えてくるように思うのは私だけでしょうか。

町民が議会に興味を持ち政治に関心があるという事は良い政治を育てていく一つの方法ではないでしょうか。そのためにも、議員さんに、大きな耳と十四の心をもって、「聴いて」下さることを切にお願いいたします。

(匿名希望)

## 投稿コーナー

### 集 募 稿 原

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

字数 400字以内

締切日 平成18年6月30日

提出先 平生町役場議会事務局

議会広報担当者係

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承願います。

掲載文には薄謝を差しあげます。

## 議会の動き

(H17・12/15・18・3/7)

- 平成17年12月15日↓22日 第9回定例会
- 12月22日 議会全員協議会
- 平成18年1月1日 第19回初日の出を迎えよう
- 1月4日 消防出初式
- 1月8日 成人の日記念日式典
- 1月18日 第4回町地域新エネルギービジョン策定委員会
- 2月7日 第1回臨時議会
- 2月7日 議会全員協議会
- 2月9日 人権教育推進委員会
- 2月13日 町土地開発公社理事会議
- 2月15日 議会改革調査特別委員会
- 2月16日 産業厚生常任委員会
- 2月17日 総務文教常任委員会
- 2月23日 議会運営委員会
- 2月28日 議会全員協議会
- 2月28日 町都市計画審議会
- 3月3日 すくすくまつり
- 3月6日 町青少年問題協議会

## 編集後記

▼雨と風に一喜一憂した桜の時期も終わり、新緑のまぶしい季節となりました。

▼ピカピカの一年生達も少しは学校に馴れた頃でしょうか？

通学路への目配りを町全体で行い、事件や事故の防止に力をそそぎたいものです。

▼3月議会では18年度の予算を中心に審議し、可決承認しました。

どの自治体も厳しい財政状況下の予算編成でしたが、議会としても予算の執行に目を光らせてチェックしていきます。

▼青空を泳ぐ鯉のぼりに町内の出生数が気になります。

- 平成14年度 130人
  - 平成15年度 115人
  - 平成16年度 94人
  - 平成17年度 126人
- と百人前後を推移しています。

子どもの声が響く地域には活気が感じられます。今年も鯉のぼりがたくさん泳ぐと嬉しいですね。

細田留美子